

(2) 川の魚

岡山県には、三つの大きな川があります。たくさんの支流しりゅうをもち、水量やえさが多いので、魚がたくさんいます。

清流にあゆを求めてつりをする人の姿すがたは、夏の風物詩ふうぶつしになっているほどです。あゆは、姿かおや香りが日本人の好みに合うのか、わたしたちの生活に古くからとけこんでいる川魚です。

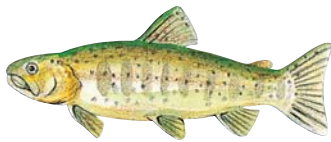
最近、海から川へさかのぼってくる稚ちあゆが減ったので、琵琶湖びわこ産の稚あゆを買ってきて放流ほうりゅうしたり、県内で稚あゆを人工生産して、放流したりして、あゆが少なくならないように努力しています。

また、あゆのほかにもあまご、にじます、うなぎ、こい、ティラピアなどの魚も養しょくされています。

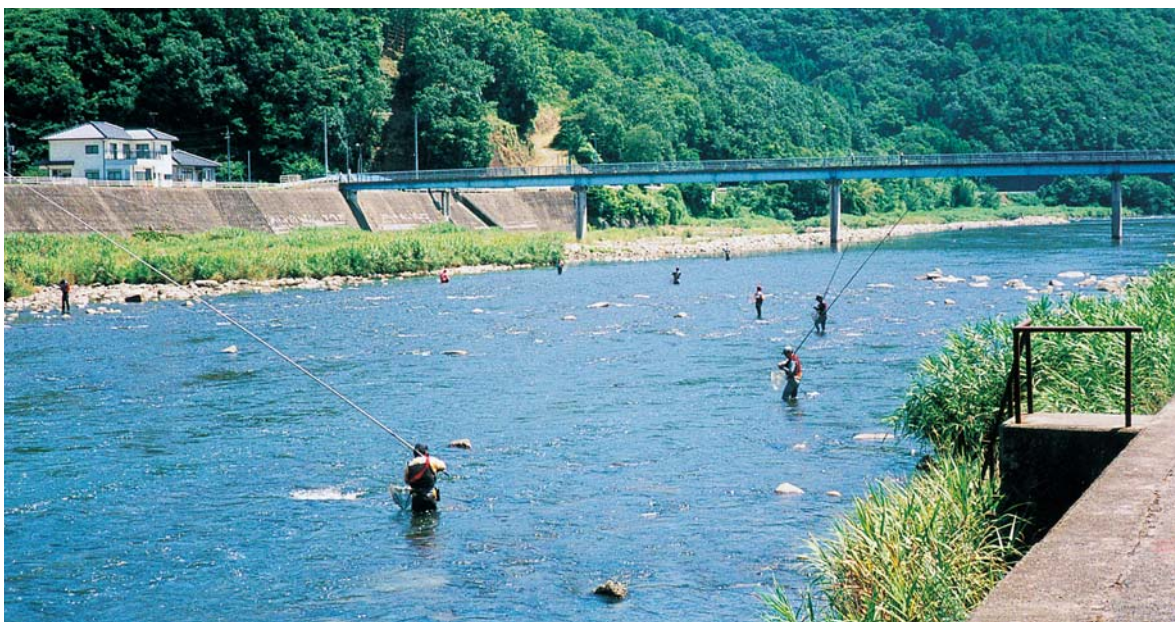
あゆ



あまご



にじます



夏の風物詩のあゆつり(真庭市)